

シンポジウム 1

3月10日(火) 大阪府立大学(中百舌鳥キャンパス) 共通講義棟 B3 棟 117 教室 (A 会場)

「生体機能の根幹とその制御」

共催：農薬バイオサイエンス研究会, 日本農芸化学会

オーガナイザー：野下浩二(秋田県立大学生物資源科学部)

中川好秋(京都大学大学院農学研究科)

太田大策(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

開会挨拶	9:00-9:05
S101 光学顕微鏡を駆使した生命現象の精密機能測定 ～微小生物からタンパク質 1 分子まで～ 西坂崇之(学習院大学理学部)	9:05-9:45
座長：謝肖男(宇都宮大学)	
S102 受容体の立体構造をベースとした創薬研究 岩田想(京都大学大学院医学研究科)	9:45-10:25
座長：平田晃一(日本曹達(株))	
休憩	10:25-10:35
S103 幼若ホルモンの分子作用メカニズムの解明と分子標的型創農薬 粥川琢巳(農研機構生物機能利用研究部門)	10:35-11:15
座長：古田賢次郎(農研機構)	
S104 植物ブラシノステロイドのシグナル伝達機構の解明と応用展開を目指して 中野雄司(京都大学大学院生命科学研究科)	11:15-11:55
座長：中川好秋(京都大学)	
閉会挨拶	11:55-12:00